

令和6年度 第3回全体庁議（7月16日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(3) 次期帯広市中心市街地活性化基本計画（骨子）について [経済部]
----	-------	--------------	--

■ 提案・報告の趣旨

令和2年3月に、「第3期帯広市中心市街地活性化基本計画」を策定し、国の認定を受け、中心市街地活性化に向けた取り組みを進めてきた。

現計画が令和7年3月で計画期間の終了を迎えるため、次期計画の策定に向けた計画の骨子を作成し、令和6年7月24日の経済文教委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 次期計画策定の目的

・帯広市の中心市街地は公共交通や商業・行政・金融機関等が集積した利便性が高い、地域の活力を象徴する「都市の顔」として、地域の経済や社会の発展に重要な役割を担っている。

・帯広市では、これまでも計画を策定し、各主体と連携を図りながら、にぎわいと魅力にあふれる中心市街地づくりに取り組んできている。

・今後も、地域の更なる魅力向上とにぎわいの創出を図るため、中心市街地の活性化に向けた取り組みを推進するもの。

2 計画の位置付けと期間

(1) 位置づけ

・第七期帯広市総合計画の分野計画

(2) 計画期間

令和7年度から令和11年度まで(5年間)

(3) 区域

面積約140ha(現計画と同じ)

3 第3期計画の目標値からみる中心市街地の現状(令和5年度時点)

(1) 歩行者通行量(平日昼間9～17時)

新型コロナの影響を受け大きく落ち込み、近年は回復傾向にあるが目標値に達していない。

(2) まちなか居住者数

市街地再開発事業による分譲マンションの整備等により増加しており、目標値に達している。

4 目指す姿: みんなでつくる、笑顔ひろがる心地よいまちなか

5 基本的な方針(関連数値)

(1) 人がつながり、誰もが行きたくなるまちづくり(関連数値: 区域内の人に係る数値)

(2) 人がつながり、住み続けたいまちづくり(関連数値: 居住者数に係る数値)

(3) 未来へつなぐまちづくり(関連数値: 事業数に係る数値)

6 推進体制

・計画で定める「目指す姿」や「基本的な方針」を地域全体で共有し、市民、事業者、行政など、多様な主体が中心市街地の活性化に取り組んでいく。

■ 今後のスケジュール

- ・ 令和6年7月24日 経済文教委員会へ計画骨子案を報告
- ・ 令和6年11月 経済文教委員会へ計画原案を報告
- ・ 令和6年11～12月 パブリックコメントを実施
- ・ 令和7年2月 経済文教委員会へ計画案を報告
- ・ 令和7年3月 計画策定

■ 審議結果

- ・ 同内容で、7月24日経済文教委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし